

市議会だより

はまだ

Vol.43

平成28年(2016年)11月1日発行



「碧い石見の芸術祭2016交流会」に全国から参加した美大生（龍雲寺にて）



三隅中央会館

9月定例会 主な記事

可決事業	2
市政を問う（個人一般質問）	7
行政視察報告（常任委員会）	14
議会報告会の回答がありました	16

旭温泉水の活用で 地域の活性化を

平成28年9月定例会は9月5日に招集され、10月4日までの30日間の会期で開かれました。
市長提出議案30件、議会提出議案2件を審査し、原案のとおり可決しました。
一般質問では20人の議員が市政全般について、4日間にわたり論戦を展開しました。

主 な 可 決 事 業

農業振興対策費補助事業

県の補助事業も活用し、弥栄米のブランド化・後継者育成事業等を拡充することにより、農業の推進を図る。

【事業費】

○補正前	3,346万円
○補正額	1,074万円
補正後	4,420万円

新規・旭温泉水有効活用事業

旭温泉の余剰温泉水の活用による地域活性化を図るため、温泉水を利用したビジネスの初期投資に対する助成や配湯管整備等を行う。

【主な内容】

スッポンを使用した加工品の研究等	
○初期投資補助金	600万円 (補助率1/2)
○配湯管分岐工事	55万円
合計支援額	655万円

林地崩壊防止事業

平成28年7月の豪雨によって被災した、佐野地区内の林地の復旧工事を行う。

【事業費】

○補正前	678万円
○補正額	472万円
補正後	1,150万円

リフレパーク ぎんたの里改修事業

国県補助事業を活用して太陽熱による給湯システムに変更するための事業費の調整。

【主な内容】

○補正前	2,538万円
○補正額	1,391万円
補正後	3,929万円

救急車の随意契約に質疑集中

総務文教委員会

総務文教委員会に付託された、同意3件、議案4件、請願11件について審査を行いました。

「浜田市ケーブルテレビ施設条例の一部を改正する条例の制定について」は字句の修正の理由とスターチャンネルの視聴料約500円の値上げの影響について質疑があり、市からは分かりやすくする字句の訂正と配信先リニユアル・放送作品等のサービス拡充に伴う配信料金の改正であるとの答弁がありました。

「財産の取得について（高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材）」は随意契約に至る経過の説明があり、保証期間や仕様内容変更の確認・納車について質疑があり、仕様変更でなく保証期間を示したこと及び再入札の納車への影響はないとの答弁がありました。

「小国辺地に係る公共

的施設の総合整備計画の策定について」は道路整備の必要性と事業債の仕組みについて質疑があり、利便性の向上と財源は有利な起債で対応し、その他10地域あるとの答弁がありました。

「市木辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について」は事業期間・事業費・見込みに質疑があり、28年度の改良区間は3100mで、新たな補修は、要望ができれば対応したいとの答弁がありました。

4議案と3同意案件は、採決の結果、全会一致で原案のとおり、可決すべきものと決しました。また11件の請願について、審議の結果、全会一致で不採択とすべきものと決しました。



質疑中の委員会の様子

福祉環境委員会に付託された請願5件について審査を行いました。

「保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願について」は、執行部から、請願の趣旨に沿った場合の市の財政負担や、制度としての考え方などについての説明があり、委員から所得の少ない保護者にとつての有効な手段、検討・研究する価値があるとの賛成意見や、市の財政面や職場再復帰・育児ノイローゼ等の昨今の社会情勢を踏まえての反対意見、また、第三子以降の保育料無料化が最優先であるとの意見もあり、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

なお、請願第22・26・30号も同一趣旨であり、不採択すべきものと決しました。

「廃棄物の処理に関する請願について」は、執行部より、廃棄物を置いている業者との交渉の経過や対応状況、及び現地東側果樹園への実害の有無について説明があり、委員から請願の内容と執行部の方針が同じなら採択すべきとの賛成意見や、担当課が保健所と一体となつて現場対応しており、市に任せるべき、または請願自体が不要ではないかという反対意見もあり、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

保育について委員間で議論

福祉環境委員会



無償譲渡のメリットは地元元々の活力だ

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された議案4件、請願5件について審査を行いました。

「浜田市農畜産物加工施設条例を廃止する条例について」は、平成7年より稼働し機器の劣化も進み、指定管理では無理があったため、条例廃止に至ったのかとの質疑がありました。JAへ譲渡ということであったがで

きなかった。現在の使用者が4者と限定されているため、条例を廃止し譲渡することに至ったとの答弁がありました。

「仮称君市踏切に関する請願について」は、約8300名の住民要望があり、JRの意見を聞いた上で、市として最終案を3案として住民に説明された。「コストを考えた努力に疑問が残る」と趣旨とは異なるとの意見がありました。

また、請願者4名の名前は、他の請願の提出もあつたが、そこでも4名とも文章が全く一緒であり、紹介議員も一緒だった。まったく同じ文面を違ふ人格の4名が請願をされているということに違和感があつたが、この文面は紹介議員が書かれたのではないかと疑念を持った。従つて、本来与えられた請願権を逸脱、乱用するような請願をされているのは、非常に問題があるとの意見もありました。

「公共施設「アクアみすみ」の修繕と財源に関する請願について」は、請願内容のような現状はなく、指定管理者と協議の上、計画的にアクアみすみを改修していく予定で、現状とすれ違いがあるとの意見がありました。

また、公共施設再配置計画でも検討していくという確認もとれており、この事実が過大に書かれている状態があるとの意見もありました。

採決の結果、議案4件については全会一致で原案のとおり、可決すべきものと決しました。請願5件はいずれも不採択すべきものと決しました。



浜田市農畜産物加工施設

事業効果や執行状況を審査

予算決算委員会

予算決算委員会に付託された平成28年度一般会計及び各特別会計の補正予算議案4件と、平成27年度一般会計、各特別会計及び水道・工業用水道会計の歳入歳出決算認定議案13件について審査を行いました。

9月16日は予算議案（補正）の審査を行い、旭温泉有効活用事業、国民健康保険特別会計、浜田市駐車場事業特別会計、浜田市公設水産物仲買市場特別会計で延べ16件の質疑があり、採決の結果、賛成多数と全会一致で可決すべきものと決しました。

9月23日からの3日間は決算認定議案の審査を行い、延べ158件の質疑がありました。

主な質疑として、総務文教委員会関係の審査では、市税や国民健康保険料の収入未済、不納欠損の状況、徴収率や徴収業務など、公平公正な課税・徴収に係る質疑がありました。また、学校支援員配置事業や放課後学習支援事業、土曜学習支援事業について、執行率、費用対効果を問う質疑がありました。

福祉環境委員会関係の審査では、一般会計の介護予防事業で、事業内容や実績、効果についての質疑があり、検討と検証をしっかりとすべき等の意見がありました。また、産前産後家事援助ヘルパー派遣事業、がん検診事業では事業周知と利用しやすい環境づくりを検討されたいとの意見がありました。水道事業の3会計では実質収支とキャッシュフローの状況を問う質疑がありました。

産業建設委員会関係の審査では、一般会計の観光協会助成事業では浜田市の補助金と人材育成についての質疑があり、ふ

るさと寄附促進事業や水産物ブランド化推進事業、美又温泉国民保養センター運営費では実績や効果を問う質疑があつたところです。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、付帯意見を付したうえで全て認定すべきものと決しました。

（付帯意見）

1. 健全な財政運営に努め、徴収業務では収入未済の縮減と徴収率の向上を図られたい。
2. 水道3会計の事務量の実態を反映した人件費を配分計上されたい。

今後も、予算執行が効率的に実行されているか、全委員で審査し取組んでいきます。



平成28年9月定例会での議案等の賛否の公開(本会議)

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→会議日程・結果→賛否の公開

議案番号	議 案 名	賛成	反対
認定第1号	平成27年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について 反対：森谷・西村	21	2
認定第2号	平成27年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第3号	平成27年度浜田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第4号	平成27年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第5号	平成27年度浜田市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第6号	平成27年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 反対：森谷	22	1
認定第7号	平成27年度浜田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第8号	平成27年度浜田市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第9号	平成27年度浜田市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第10号	平成27年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 反対：森谷	22	1
認定第11号	平成27年度浜田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第12号	平成27年度浜田市水道事業会計決算認定について 反対：森谷	22	1
認定第13号	平成27年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について 反対：森谷	22	1
議案第64号	浜田市ケーブルテレビ施設条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第65号	浜田市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第66号	浜田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第67号	浜田市農畜産物加工施設条例を廃止する条例について	23	0
議案第68号	財産の取得について（高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材）	23	0
議案第69号	財産の無償譲渡について（浜田市農畜産物加工施設）	23	0
議案第70号	市道路線の廃止について（長沢外ノ浦線）	23	0
議案第71号	市道路線の認定について（長沢外ノ浦線外）	23	0
議案第72号	小国辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	23	0
議案第73号	市木辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	23	0
議案第74号	平成28年度浜田市一般会計補正予算（第2号） 反対：森谷	22	1
議案第75号	平成28年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 反対：西村	22	1
議案第76号	平成28年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第77号	平成28年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計補正予算（第1号）	23	0
同意第5号	浜田市教育委員会委員の任命について	23	0
同意第6号	浜田市公平委員会委員の選任について 反対：森谷	22	1
同意第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
請願第14.20.24.28号	神楽館・歴史館の建設中止に関する請願について 賛成：森谷・澁谷・西村	3	20
請願第15.19.23.27号	仮称君市踏切に関する請願について 賛成：森谷	1	22
請願第16.21.25.29号	瀬戸ヶ島蓄養場建設中止に関する請願について 賛成：森谷・西村	2	21
請願第17.22.26.30号	保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願について 賛成：森谷・西村	2	21
請願第18.31号	金城町七条新開の通学路の整備に関する請願について 賛成：森谷・西村	2	21
請願第32号	廃棄物の処理に関する請願について 賛成：森谷	1	20
請願第33号	危険な通学路の改善に関する請願について 賛成：森谷・西村	2	21
請願第34号	公共施設「アクアみすみ」の修繕と財源に関する請願について 賛成：森谷・澁谷	2	21
発議第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	23	0
発議第5号	参議院選挙における合区の解消を求める意見書について 反対：森谷・西村	21	2

議案に対して議員が討論を行いました

議案名	反対者	賛成者
認定第 1 号 平成27年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について	森谷・西村	
認定第 6 号 平成27年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	森谷	
認定第10号 平成27年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	森谷	
認定第12号 平成27年度浜田市水道事業会計決算認定について	森谷	
認定第13号 平成27年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について	森谷	
議案第75号 平成28年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	西村	
発議第 5 号 参議院選挙における合区の解消を求める意見書について	森谷・西村	岡本

請願・陳情の審査結果

平成28年9月定例会審査分

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査結果
請願	神楽館・歴史館の建設中止に関する請願について	大崎 哲司 様 森脇 俊則 様 堀越 律子 様 小池 勇仁 様	総務文教委員会 （ 不採択 ）
請願	仮称君市踏切に関する請願について	大崎 哲司 様 森脇 俊則 様 堀越 律子 様 小池 勇仁 様	産業建設委員会 （ 不採択 ）
請願	瀬戸ヶ島畜養場建設中止に関する請願について	大崎 哲司 様 森脇 俊則 様 堀越 律子 様 小池 勇仁 様	総務文教委員会 （ 不採択 ）
請願	保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願について	大崎 哲司 様 森脇 俊則 様 堀越 律子 様 小池 勇仁 様	福祉環境委員会 （ 不採択 ）
請願	金城町七条新開の通学路の整備に関する請願について	森脇 俊則 様 小池 勇仁 様	総務文教委員会 （ 不採択 ）
請願	廃棄物の処理に関する請願について	桑本 哲司 様	福祉環境委員会 （ 不採択 ）
請願	危険な通学路の改善に関する請願について	國分 静枝 様	総務文教委員会 （ 不採択 ）
請願	公共施設「アクアみすみ」の修繕と財源に関する請願について	伊藤 久子 様	産業建設委員会 （ 不採択 ）

市政を問う

20名が論戦（個人一般質問）

【一般質問とは】

各議員が住民の代表として、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねます。

限られた字数で編集しています。くわしい内容については議会HPでもご覧いただけます。

中山間地域

生き残りの取組について



飛野 弘二

質問 農業就業人口と年齢構成を問う。

産業経済部長 農業就業人口は1654人。10年間で994人減少した。高齢者の離農の加速と若者の就農が伸びないのが要因。70歳以上は全体の60%となっている。

質問 高齢者離農の要因は除草作業である。畦畔除草対策事業の支援状況と今後の見通しを問う。

産業経済部長 今年度2件5763㎡、来年度2件4376㎡となっている。本事業が各地域に広がる事を期待する。

質問 イノシシ・クマの駆除に際し、ドローンによる生息頭数調査が有効だが所見を問う。

産業経済部長 情報収集しながら調査研究をする。

質問 危険木支障木緊急除去事業の進捗を問う。

産業経済部長 危険木は28箇所、支障木6箇所です。全体予算の約15%。道路パトロールで危険木の発見が予想されるが危険木撤去の所有者への承諾は市で行う。

質問 天然記念物「大平桜」の保全・継承活動が人口減少と高齢化のため難しい。所見を問う。

教育部長 桜の背景である法面などの芝生化は有効と思う。一帯の公園化と併せて地元の意見を聞きながら検討していく。



風雨時に道路に倒壊した危険木

市の元気は

市民の健康づくりから



芦谷 英夫

質問 各検診の受診率は高く特定保健指導実施率が低いことが、市民の健康寿命が短いことにつながっているのではないかと。

健康福祉部長 特定保健指導実施率が低く、特定健診・特定保健指導の効果的な実施に努めたい。

質問 認知症力フエを増やすため、施設などに力フエ機能を設ける制度をつくってはどうか。

健康福祉部長 認知症力フエの増は、交流や相談の機会が増え、認知症予防につながる、力フエの運営に対し支援したい。

質問 認知症地域支援推進員の増員など体制整備が必要なのではないかと。

健康福祉部長 医療介護連携推進事業の嘱託職員1名を雇用し、認知症地域支援推進員の業務をサポートしている。

質問 27年度機構改革で、医療・介護など一体的な体制整備をしたが、機能しているのか。

健康福祉部長 保健師を増員し、引き続き医療機関や施設と連携し地域包括ケアの充実に努めたい。

質問 入札改革は進んでいるが、そこで働く人へのしわ寄せはないか。

総務部長 役務の業務委託は、働く人へのしわ寄せがあり、低入札価格調査制度などを試行改善に向け取り組んでいる。



認知症市民公開講座（9月3日）

土曜授業の復活で 学力向上対策を



道下文男

質問 今年度の大学入試センター試験において、島根県は全国43位、トップ東京との点差もこの10年間で最大となった。

子どもたちの学力対策として、県大生とのさらなる連携強化を図りたいと考えてを問う。

教育長 平成19年度から県立大学に依頼し、市内小中学校6校へ放課後学習支援を実施している。今後は、その取組を拡大していきたい。

質問 土曜日の授業が復活できないか問う。

教育長 県全体で取組まなければ困難である。

質問 全国では土曜学習等、公民館と地域が連携して子どもたちの学力向上に成果をあげているが、取組について今後の考えを問う。

教育長 全国での活動が



土曜授業の復活を

広がっていることは認識しており、活動拡大へ支援指導をしていく。

質問 小中学校の普通教室のエアコン設置が全国・県内でも進んでいるが、市の考えを問う。

教育部長 5億円が必要であり、計画にない。

質問 残暑厳しい九月上旬の体育祭は、小学1・2年生には極めて苛酷であり、時期検討を問う。

教育部長 校長会に意見を聴きたい。

実情を把握し温泉入湯税課税を 減免すべきだ



布施賢司

質問 本市における温泉入湯税の考え方を問う。

財務部長 18の鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課すものであり、貴重な財源の一つである。

質問 近年、温泉施設において利用者減、宿泊客より日帰り客の方が多く利益が安定的に計れない実態がある。実情を把握し、経営者に意欲や体力があるうちに、一律150円の入湯税を徴収するのではなく、他市の取組も参考にして課税減免をすべきだと思うがどうか。

市長 指摘されたように、温泉施設の実情を十分に把握する中で、入湯税の課税について検討する。

質問 県・観光連盟が、東京から萩・石見空港の利用促進策として石見温泉手形（松の板に焼印）

を作成しているが、本版に焼き直して、誘客に取組む考えがないか問う。

産業経済部長 無料入浴券を付けたアイデア等を参考にし、十分検討する。

質問 気軽に「かぶりつく」ことができる、ファーストフード的な浜田ならではの食の提供を、温泉地をあげて取組むべきだ。

産業経済部長 実現に向けて働きかける。

その他の質問

○国府地区防災について

○下府町、上の浜地区の狭い市道の現状について



石見温泉手形
(島根県産の松材を使用)

子どもの貧困対策拡充と クマ対策について



小川稔宏

質問 朝食を食べていない子どもについての対策と「子どもの貧困」実態把握のためのアンケート調査実施について問う。

教育部長 朝食を摂っていない子どもへの心配がある。夏休み中の起床時間、食事等の生活習慣や学習時間等も含めた調査の実施に向け校長会等と協議している。

質問 学校給食費の負担軽減に努力している自治体もあるなかで、補助制度の拡充についての認識を問う。

教育部長 過度の負担とならないよう食料費相当分を受益者負担していただく制度で、経済的に困難な場合には助成しており、理解をお願いしたい。

質問 実態把握と問題意識の共有、施策推進のための対策会議等の設置に

ついて問う。

市長 生活困窮者自立支援対策庁内連絡会議を設置しており、教育部門と福祉部門が連携し横断的に対応したい。

質問 子ども達をクマ被害から守る対策と野生動物との共生、自然環境の保護の観点からの教育について問う。

教育部長 チラシを配布しクマに遭わないよう指導している。生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を育成している。



全児童生徒に配布されたチラシ

どうなる訪問・通所介護、 ミニデイサービス



西村 健

質問 介護保険法の改正により、要支援者へのサービスや地域支援事業はどう変わるのか。

健康福祉部長 来々4月から、要支援者の訪問介護・通所介護は保険から外れ、新介護予防・日常生活支援総合事業に移行し、現行相当サービスのほか、身体介護を必要としない方には、緩和型新サービスを提供する。

質問 利用者負担や事業者の財政運営上の変化について問う。

健康福祉部長 現行の訪問・通所サービス継続の場合負担額は変わらないが、緩和型サービスの場合負担額は減る。現在のミニデイサービス利用者が緩和型新サービスを利用した場合、食事代のほか新たな負担が発生する。緩和型サービスの利



福祉の要、浜田市社会福祉協議会が入居する浜田市総合福祉センター

用が増えれば事業者の収入は減るが、二次予防対象者が新サービスを利用することにより、事業拡大につながる側面がある。

質問 無料のミニデイサービスは残すべきではないか。

健康福祉部長 緩和型新サービスを利用される場合は有料となるが、現行のミニデイサービスを続けてほしいという要望もいただいております。その方向で検討している。

敬老乗車券を 買えない方への対応は



牛尾 昭

質問 この交付券事業は市民にも業界にも喜ばれており、評価しているが、まだ利用率が低い。先般発表の年金実態に起因しているのか問う。

地域政策部長 70歳以上の方で、年金30万未満の方が1・7%、50万未満の方が4・8%、満額未満の方が12・2%である。

質問 敬老券購入層の分析について問う。

地域政策部長 分析まではしていない。

質問 昨年のプレミアム商品券の時も、買いやすい金額設定を提案したが、実現しなかった。買いたくても買えない方々に対して、暖かい政策を手当てするのが、久保田市長の1期目の仕事ではないのか問う。

市長 よく分かるので早速検討したい。

森林の公益的機能の 向上を図る取組は



串崎 利行

質問 日本人は古くから森の恵みを受けてきた。この大切な森林を守るため、公益的機能の向上を図ることが重要な取組であるが考えを問う。

産業経済部長 市が所有する森林は間伐等の施策を行うとともに、市内で森林を所有し、自ら間伐等の施策を行う方に対して補助を行っている。

質問 産直市場の取扱実績は足踏み状態と感じている。将来の担い手をどう描くか考えを問う。

産業経済部長 JAなど関係機関と連携し、新規担い手の確保や生産者の意欲向上に向けた支援を行う。

質問 地球の温暖化でエコ活動が大変重要だと感じている中、エコライフ運動の取組は、すでにJA女性部や他市では行わ

れている。地球温暖化防止の環境改善について考えを問う。

市民生活部長 エコライフ推進隊会員とともにエコバックやエコドライブの活動を行っている。今後、JAしまねいわみ中央地区本部女性部と連携し更に活動を推進する。

その他の質問

○硝酸態窒素について

○弥栄自治区の取組

弥栄米ブランド化を目指し、「一般社団法人奥島根弥栄」の法人予定



森の恵み「笠松市民の森」

詐欺被害防止のために 部局が連携した対応を



柳 楽 真智子

質問 本年、特殊詐欺被害が県東部では減少しているのに対して、西部では増加している。しかも7月末までに西部で起こった被害件数8件のうち7件が浜田市での被害である。被害者の多くは高齢者で、防災防犯メールやツイッターなどでの周知だけでは不十分だと考える。高齢者との関わりが多い福祉部などと連携して訪問時の声かけや、高齢者の集会等で周知することはできないか問う。

総務部長 直接高齢者と接する職員による啓発は、被害防止効果が期待できるものと思う。安全安心推進課でチラシ等を作成し、訪問する職員から渡してもらうなど、被害防止対策として検討する。

質問 乳がんを患う女性は12人に1人と言われ、



ダメされないで！
ATMで還付金の手続きはできません

30歳から64歳の女性の死亡原因のトップとなっている。最近では20代から30代の若年性乳がんも増えており、進行が早いことから早期発見が重要である。現在は40歳以上が対象の乳がん検診を、20歳以上に引き下げる必要があるのではないかと考える。

健康福祉部長 若年者は乳腺濃度が高くマンモグラフィーの検査では発見が難しい。「乳がん自己検診法」の普及・啓発に努めていく。

なぜ黒塗りか なぜ情報開示しないのか



森 谷 公 昭

質問 「不在」「名刺を預けた」の黒塗り理由は。

総務部長 不在部分の開示だけでは優位の情報が記載されない。

質問 開示した理由は。

総務部長 その部分は審査会から「開示すべき」とされた。

質問 「瀬戸ヶ島埋立地活用」が黒塗りの理由は。

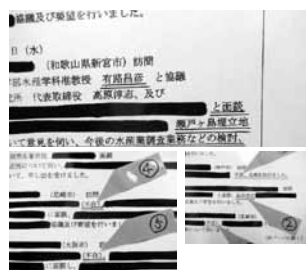
総務部長 相手が不快、不信の念を抱き、信頼関係が損なわれ、交渉に支障を及ぼし企業等との間における自由な意見情報の交換が妨げられる恐れがあるからだ。

質問 開示の理由は。

総務部長 不開示とする理由が消滅したからだ。

質問 市長が自分の家賃補助を決めることの公平性について問う。

総務部長 要綱に基づき、適切に支出している



二重線が追加で開示

が、係争中である。

質問 市民は弁護士を立てずに争っているようだが、浜田市は弁護士に幾ら払っているのか。

総務部長 着手金は7万円、報酬等は払っていない。

質問 天満町の溝の修理は、平成23年に住民要望が出て手付かず。久保田氏が市長になった直後の平成26年に市長の実家の周りに着手したが、市長の実家の周りは後回しにすべきではないか。

都市建設部長 計画的にやっている。

単なるイノシシ被害では なくなってきた



佐々木 豊 治

質問 イノシシ被害は年々増大し、住民の生活に大きな影響を及ぼしており、単なる鳥獣被害の範囲ではとどまらなくなってきた。捕獲が有効な手段と思うが、先進事例のようにICT（情報通信技術）を活用したセンサーなどの設置により効率的な駆除対策に取組むべきと思うがどうか。

産業経済部長 ICTシステムを活用した捕獲については着目しており、このたびの補助事業を活用して美川西地区でイノシシ囲いワナを設置し、捕獲効率の調査研究を始めたところであり、効果を検証していきたい。

質問 先日、高知県津野町床鍋地区に伺い、住民主導により朽ちかけていた廃校を農村交流施設



農村交流施設「森の巣箱」

「森の巣箱」として有効活用し、人里離れた集落に思いもよらない人の往来ができている取組を学んだ。高齢化率50%を超える地域住民が、主体となって将来を考え、住んで良かったと思う取組から学ぶところは多く、参考にすべきと思うがどうか。

地域政策部長 このような先進事例をまちづくり総合交付金制度の説明会などで周知したい。

その他の質問 ○複式学級について 他

美しいまちづくりの

おもてなし条例制定を



岡 本 正 友

質問 美しい街をつくる美化運動は、来訪者（観光客）への思いやり・おもてなしであると考ええる。市民の参加と協力の美化運動を推進させるための思いやり・おもてなし条例制定について問う。

市民生活部長 美化運動推進にとどまらず、観光客の受け入れ体制の構築、郷土教育による市民意識の向上など広範囲に及ぶべきものと考ええる。先進的取組など他市の事例を参考に、部局を横断して研究検討をしたい。

質問 孤独死の実態及び高齢者の独居状況を問う。

健康福祉部長 市が関わる事例は、2年半で7人となる。高齢者の独居状況は市民の約10%の6052人である。

質問 年金収入及び収入階層別の割合及び生活困

窮者の実態と課題を問う。

健康福祉部長 公的年金収入が生活保護基準より低い高齢基礎年金78万円以下となる方が7520人で34%となっている。経済的に余裕のない状況で、高齢者世帯でも病氣やけがで家族からの経済的な支援がなくなり、保護開始となるケースも年々増加をしている。こうしたケースをいかに行政や地域が支えて行くことができるのかが課題である。



道路の雑草

法改正に伴う

社会福祉法人への対応は



足 立 豪

質問 改正社会福祉法が29年4月から施行されるが、法改正にまだ対応できていない社会福祉法人はいくつあるのか問う。

健康福祉部長 21法人ある。

質問 法改正に伴い、社会福祉法人には「地域における公益的取組の責務」が義務づけられることとなるが、浜田市が指導する具体的な公的取組について問う。

健康福祉部長 特定の事業実施の強制など自主性を阻害するような指導はできないので、法人の自主性を尊重しながら判断する。

質問 法改正に未対応の社会福祉法人に対して、市民に影響が出ないよう最大限支援が必要と考えるが、どのような支援を考えているのか問う。

健康福祉部長 社会福祉法人からの相談に応じて必要な支援をする。

質問 介護予防・日常生活支援総合事業のうち、多くの市民がミニデイの継続について心配している。新しいサービスの内容や利用料金について、市民への周知方法を問う。

市長 ミニデイは継続できるよう検討している。

健康福祉部長 チラシを配布し、その後ケアマネを通じて個別に具体的な内容を説明する。



浜田の福祉活動のシンボル「ふくっピー」

中山間地域の将来を

どう考えているのか



原 田 義 則

質問 中山間地域の集落に対する基本的な方針について問う。

地域政策部長 自治区制度や第2次浜田市総合振興計画に基づき、地域の個性を生かしたまちづくりと住民自治の推進、地域の方が主役となり、地域の課題は地域で解決できる仕組みづくりを進められるよう、地域の皆さんとの連携を深め課題解決に努めていく。

質問 小さな拠点づくりについて問う。

地域政策部長 この取組は、過疎化などの進行によって、大変厳しい状況になってきており、中山間地域においては、これまでの地域での絆や、伝統文化などの資源を将来にわたって維持し、個々の集落を超えた広域的な範囲での取組の中で日常

生活を支える仕組みを考えて行く。

質問 元谷団地の事業の進捗状況について問う。

産業経済部長 現地測量が終わり、実施設計業務及び換地業務を実施している。また、用水源調査業務を行い、営農に必要な水量及び水質の確認を実施している。

質問 久佐、佐々田邸の扉門の保存について問う。

教育長 今後、こういった歴史的建造物の保存について検討する。



大庄屋だった佐々田邸

新たな浜田漁港は市民に 来てもらえる整備を



笹田 卓

質問 新たな浜田漁港の整備は、高度衛生管理型荷捌所を核として、お魚センターと浜田市公設水産物仲買売場を同時に生まれ変わらせ、市民に來てもらえる施設として整備すべきでは。

市長 お魚センターは抜本的な改革が必要だが、鮮魚店が少ない現状で集めるのにも苦労する。今の段階では難しい。朝市などの仕組みづくりが必要だ。



高度衛生管理型荷捌所を核とした
浜田漁港の整備を！



浜田の海を楽しむ浜っ子たち

質問 今夏、Hamadaマリン郷育プロジェクトが実施され、参加人数も大幅に増加し、評価が高かった。平成27年6月議会で一般質問した海洋教育の浜田市での見通しは。

教育長 6年間で最低1回は、海を通じた自然体験を進めていきたい。市長からも強く進めるようにと指示を受けている。

集落営農組織の 設立支援策は



田畑 敬二

質問 集落営農組織の設立に伴う支援制度を問う。

産業経済部長 設立に関わる支援制度は、市・農林振興センター・JAが連携して、浜田市農林振興センターにより組織化意向の掘り起こし、設立に向けた規約作成等の支援を実施している。

質問 集落営農の設立を推進する一方で、ICT化（情報通信技術）を推進し、栽培管理のデータの蓄積など農作業を効率化し、高齢化していく地域の農地の保全に勤めるべきあると考えるが市の考えを聞く。

産業経済部長 ICT化は大規模な農業や施設栽培などにおいては、効率化、高付加価値化、省力化、低コストにつながるメリットが多いと考えている。浜田市では、導入

事例はないが、先進事例を調査し推進を検討する。

質問 課題解決特別事業の提出状況はどうか。

地域政策部長 まちづくり委員会32団体中17団体から提出があり、15団体が未提出である。

質問 和田地区は11事業を提出し、2事業が採択されたがその状況を聞く。

地域政策部長 11の計画の中、大半が継続事業で、一定の基準を超えたのは11事業中2事業であった。



住宅密集地の耕作放棄地

なぜ、教師に残業代が 支払われないのか



澁谷 幹雄

質問 浜田市の小中学校の若い教師の多くは、毎日夜8時9時まで残業している。しかし、週15時間月換算60時間の残業に対し、残業代が支払われていない。民間企業が月60時間の残業代を支払わなければ、「ブラック企業」として批判される。浜田市の教師の待遇は、「ブラック企業」並みだ。一方、本庁の教育委員会の職員には残業代が支払われている。公平公正の観点から言っておかしいのではないのか？

教育長 法に基づいて対応している。

質問 これまで「浜田市の教育委員会事務局は学校現場の実情をつかんでいない」と指摘してきた。学期末の週末に多くの教師が出勤し、通知表や提出資料の作成のために自

らの責任において仕事をしている現実を教育長はつかんでいるのか。

教育長 その現実には承知していない。

質問 現在の浜田市の劣悪な教育環境の中で、ストレスをためている教師の状況を改善していかなければ、児童生徒の学力向上は砂上の楼閣だ。なぜ、待遇改善を島根県や国に働きかけないのか？

教育長 教師が多忙なのは理解しているので、検討したい。



浜田市教育委員会事務局

敬老乗車券交付事業の 拡充と継続を検討せよ



江角 敏和

質問 本格導入した「敬老乗車券交付事業（平成28年度～30年度）」を、「交通空白地域」及び「交通不便地域」を解消する一環として対象地区の希望者への拡充をする考えはないか問う。

地域政策部長 敬老乗車券は、タクシーにも利用できることから、バス停から離れた交通空白地域の支援策として、一定の効果がある。しかし、本格導入したばかりなので、利用状況等をしっかりと分析し、検討していきたい。

質問 この議会で、新ミニデイも公民館単位で実施（残す）すべく検討中との答弁があった。しかし、送迎がなくなればこの乗車券を活用するとか、また市内高校への通学を対象とした学生割引

浜田に中高一貫教育を 導入すべきでは



岡野 克俊

質問 全国で広がっている公立の中高一貫教育制度導入への対応を問う。

市長 政府は全国で500校の導入を目指している。先のシンポジウムであつたように島根は公立では未導入の4県のひとつである。教育の機会均等を図り、学力低下の歯止めのため、歴史的に教育都市であつた浜田から県に要望したい。そのためには市民のご理解とご協力が必要と考える。

質問 方策と効果を問う。

教育部長 浜田高校を想定する。併設中学は定員60人。高校からの入学を含めて220人を想定すると、6年間の一貫教育は生徒が互いに切磋琢磨し、それぞれの個性を伸ばし、学校の魅力化につながると考える。



市役所の地下に設置してある案内表示

夢あるスポーツの 振興を進めるべき



野藤 薫

質問 浜田市は体操と水泳で偉大なオリンピック選手を輩出している。8月、全国高校総体の体操競技が浜田市で開催され、浜田高校の健闘に拍手が沸いた。平成30年には、全国中学校体操大会が開催されるが、浜田市の現状を問う。

教育部長 浜田高校の体育練習場、旭体操クラブ、県立体育館で合計167名の児童生徒が練習している。体操のまち浜田の復興を目指し、強化事業や選手育成会議の開催など支援を行う。

質問 競技施設が指定管理されているが、利用者本位が現状を問う。

教育長 老朽化や管理運営面で、必ずしも使いやすい状況と言えない所もあると思う。施設の配置や整備計画はスポーツ推進審議会に諮り、利用者のニーズも応えられるよう務める。

質問 千葉県野田市の土曜授業を視察した。浜田市での取組を問う。

教育長 教職員の負担軽減が課題である。児童生徒の学力の定着を図り、効果的な方法を検討する。当面は現在の放課後学習や土曜学習に取組む。



「市民に夢を！」竹本正男アリーナ

その他の質問
○学校給食応援団
○基幹産業の水産業

ICTを活用し 安全安心のまちづくり！

行政視察報告

総務文教委員会

7月12日から14日にかけて長野県佐久市「学校給食応援団」塩尻市「ICT街づくり推進事業」山梨県山梨市「空家バンク」を視察しました。佐久市では「暮らしとしての農業」を推進するため、学校給食と農業を結び取組を始めました。学校給食現場においては、調理に適した農産物を供給できる農家が集まらない、センター側の地元食材への理解不足、集荷・納品等の物流システムなどの課題があり、利用数量が伸び悩んでいました。

そこで佐久市では、センター毎に「学校給食応援団」を組織し、課題解消に向けた体制作りを市内全域で進め、キーになる人材・マネージャーを置き、品目、数量、品質、納入金額等、センターと生産者、産直市場との調整を行い、現在では5つあるセンターで、応援団が結成され、地域コミュニティの活性化や営農意欲の向上など効果もみられています。

塩尻市では1996年より市内への光ファイバー網設置や行政初のドメイン取得以降、市内のICT技術者とのソフト開発により、市内全域にネットワーク中継局を設置、児童・高齢者に発信機を貸与し、GPS位置情報を活用した「安全安心の見守り事業」を開始しました。また、鳥獣被害防止のためネットワーク経由で、センサーを使った追払いや、捕獲わなセンサーからの情報（携帯メール）で、地元猟友会も効率的な駆除が可能になり、開始から数年で被害



塩尻市の各種ネットワークシステム

はゼロになりました。山梨市では、空き家バンク事業を視察しました。市では宅建協会と協定を結び、市が空家の募集を行い、空家提供者は申込登録をして、宅建協会は現地調査や連絡調整など、契約交渉を受け持つ、市はHP等で情報提供を行います。各種申し込みを受けたら、宅建協会が提供者と連絡調整、契約交渉を行います。開始から約10年で、成約件数80件、問合せは月平均60件以上です。行政と民間（プロの宅建協会）との役割分担を明確にしていることが良い効果を生んでいます。視察先での良い点は議会において浜田市へ提案していきます。

みんなで支え合う 福祉施策を学んだ

行政視察報告

福祉環境委員会

4月20日から22日にかけて、長野県須坂市、石川県輪島市、金沢市を視察しました。

須坂市の「健康づくり事業」は、「保健補導員」という50年以上継続されている制度によって育まれている事業であり、市内を10のブロックに分けそれぞれ保健師を配置し、月毎に勉強会を開催しながら制度の確立、促進へ大きな成果をあげていました。また、「介護予防、高齢者施策」は、医療機関や民生委員、高齢者団体などと連携を密にし、何らかの支援を要する者を早期に把握しながら、多種多様なプログ

ラムで介護予防や高齢者の健康増進事業に取組んでいました。

輪島市の「福祉避難所」は、避難所生活において特別な配慮を要する人を対象者とし、要介護の方は特別養護老人ホームや病院で受け入れる制度を確立していました。施設や病院に入れる人数を的確に把握、確立すること

ぐに市へ通報してもらい、職員が急行することで地域と連携した見守りを確立していました。昨年までの6年間で年間4～5件の通報があり、合計8件の人命救助につながっていました。

で、介護を要する方々の避難所生活の混乱を避け、安心と安全を確保していました。また、高齢者、障がい者、乳幼児及び妊産婦と分けて指定しており、決め細やかな運営体制のマニュアルも行政で作成していました。「子宝支援事業」は、不妊治療助成として全国に先駆けて実施されており、現在では不育症治療や特定不妊治療にも助成しており、利用者出生率50%の効果をあげていました。他にも、「地域貢献みまもり事業」は、平成22年から始められ、25年には市の負担責任を明確にし、事業者が見守り中に異変に気づいたらす

金沢市の「高齢者、障がい者への福祉事業」は、福祉施設「シェア金沢」を視察しました。この施設は、日本版CCRC（※1）として先駆的な施設で、高齢者福祉や障がい者福祉、若者の定住や子ども見守りなど、「目指すは西園寺」といわれるようになり、未来の地域コミュニティのあるべき姿を実現していました。戦災孤児受入からの長い経験と実績で培われた崇高な理念により、今なお進化を続けていて、加速度的に進む高齢社会の浜田市においても、非常に参考になりました。



※1 日本版 CCRC とは「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療・介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すものである。

温泉もやし栽培と歴史的町並みを活かすまちづくりを学ぶ

行政視察報告

産業建設委員会

5月30日から6月1日にかけて、青森県南津軽郡大鰐町、福島県東白川郡棚倉町を視察しました。視察に至った経緯は浜田市美又温泉水を利活用した新たな農産品などの取組みを模索するため先進地の大鰐町に伝わる伝統野菜「大鰐温泉もやし」としました。このもやしは「小八豆」という大豆の品種で門外不出の品種。美味しさの秘訣はシャキシャキ感が強い歯触りと、ほのかな土の香りがあり、独特なうまみがある非常に長いもやしでした。熱源を利用した

土耕栽培は、洗浄から仕上げに至るまで水道水は一切使わず温泉水のみを使用している。播種してから1週間ほどで収穫できる。1束300gでワラを束ねているのが目印でブランド化している。7割が地元消費で小売価格は250円～280円であるが、東京のアンテナショップでは800円～1000円でも売れる。

このことは、浜田市でも十分栽培の可能性があると手ごたえを得ました。

次に、棚倉町産業振興は、歴史的な町並みを活かしたまちづくりや、川越藩と浜田藩の歴史について学んできました。視察に至った経緯については、藩主に関わる民間組織「初雁温知会」役員さんとも面談し浜田開府400年の案内や交流の再開、城跡を活かしたまちづくりの先進地を学ぶため選びました。久保田浜田市長のメッセージを手渡しました。棚倉町長からこういった機会を契機に交流を深めていき

た、歓迎の言葉を頂戴しました。城跡を活かしたまちづくりについては、東日本大震災・原発事故の風評被害の払拭に向けて、地域の魅力・活力を県内外に発信し復興への意識向上と町内の結束力を高めることを目的としたイベントを開催している。この城跡を平成29年に国指定の史跡とする取組む政策を学びました。

また、8月22日から23日にかけて、山口県下関市、愛媛県八幡浜市で高度衛生管理型の漁業の2施設を視察しました。この施設は浜田市も計画中の重要案件でもあります。今回2回の視察で学んだことは、市政に反映できるよう活動していきます。

また、8月22日から23日にかけて、山口県下関市、愛媛県八幡浜市で高度衛生管理型の漁業の2施設を視察しました。この施設は浜田市も計画中の重要案件でもあります。今回2回の視察で学んだことは、市政に反映できるよう活動していきます。



温泉もやし収穫風景

わかりやすく 読みたい『議会だより』を学ぶ

行政視察報告

議会広報広聴委員会

5月16日から18日にかけて、群馬県桐生市と東京都あきる野市を視察致しました。

桐生市議会の情報発信事業についてですが、議会だよりや議会報告会の手法について説明を受け、意見交換をしました。桐生市では平成23年7月より、各定例会終了の1ヶ月後を目途に「議会報告会・意見交換会」として地域に出掛けて開催しています。

また、議長交際費、議案の賛否、議員提出議案、請願・陳情等もHPでの公開を行い、平成25年10

月からはコミュニケーションMを使い、議員自らが議会情報を発信する番組を作っています。

平成25年10月からインターネットによる議会中継も開始し、各定例会終了後に議長記者会見も行っていました。（現在は必要に応じての会見）

桐生市議会では、市民との議会報告会・意見交換会は毎回開催場所を変えており、地域住民や大

学生、様々な団体など意見交換を実施しています。議員は市民に対してモラルや行動、発言に対する責任の重さなどで、『議会全体が責任を負う』との共通認識に立っているとのことでした。

あきる野市議会では、評判の広報紙『ギカイの時間』について説明を受けました。

当初、合併自治体の中から、良いと思われる広報紙のレイアウトを踏襲していたが、平成20年、30自治体の広報紙の研修会が開催された時に低評価となりました。これを受け、議会で調査研究グ

ループを設置し市民アンケートを取り、編集委員会に提案、「手にとつてもらえる表紙づくり」と「気付きをあたえる表現方法や読みやすさの工夫」をキーワードにリニューアルに着手した。行政用語はわかりやすく、市民が登場する特集や小学生在が夢を語るなどの記事を入れ、平成25年2月から発行となりました。

視察後、広報広聴委員会では、できるところから市議会だよりを改善しています。今後もわかりやすい議会だよりを目指していきます。



参考にしたあきる野市議会だより「ギカイの時間」

5月に開催した議会報告会について、執行部から回答がありました。

紙面の都合上、回答を要約したものを掲載しています。詳細は浜田市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→議会の取組→議会報告会

【意見要望等】 公民館の利活用とまちづくり機能、コミュニティセンター化について

【回答】 公民館には休館日を設けておりますが、事前に申込みと鍵の開閉をしていただくことで利用できます。一部公民館では、まちづくり推進委員会や社会福祉協議会などの事務局を担当しています。コミュニティセンター化は公民館職員の話し合いの場を設け、地域の実情に応じた施設運営を検討してまいります。

【意見要望等】 まちづくり総合交付金について

【回答】 まちづくり総合交付金は均一配分していたことを改めて、それぞれ地域課題が異なるため、活動の度合いに応じて、頑張る団体を支援する「課題解決特別事業」を設けました。会計については各組織での監査、市窓口での聞き取りなどによりチェックしています。

【意見要望等】 浜田市火葬場の統廃合と三隅霊園へのトイレ設置について

【回答】 浜田市火葬場を廃止して三隅火葬場に統合し、旭と弥栄の火葬場は大規模修繕が必要となるまで存続する、との計画としておりました。しかし、浜田市火葬場を残してほしいとの意見を踏まえ、火葬場までの距離など葬祭の実情などを考慮して、浜田市火葬場の大規模改修を行い20年程度の延命を図りたいと考えています。三隅霊園へのトイレ設置は費用の面から難しいと考えています。

議会からのお知らせ

12月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
				12月1日	2	3
					開会 本会議 議案の提案説明	
4	5	6	7	8	9	10
		本会議 個人一般質問			本会議 議案質疑	
11	12	13	14	15	16	17
	総務文教委員会	福祉環境委員会	産業建設委員会	予算決算委員会	予算決算委員会	
18	19	20	21	22	23	24
	休会	本会議 表決 閉会				

開会10:00（変更になる場合があります）

【政務活動費について】

浜田市議会では次のとおりです
・年額10万円
・全ての領収書等証拠書類を浜田市議会HPで公開しています。

【お詫び】

議会だよりVol.42（平成28年9月1日発行）に誤りがありました。
P7の地図の表記「産廃処分場建設予定地」が正しくは「以前の産廃処分場建設予定地」です。
お詫びして訂正します。

★この議会だよりは1部あたり42・56円でできています。

あとがき

今年はいくつかの台風が日本列島に上陸した年でした。全国各地で災害が発生し、被災された皆さまに心よりお見舞い申しあげ、早期の復興をお祈りいたします。

9月定例会では通常の定例会の議題にあわせて平成27年度の決算審査が行われました。議員から各事業の執行に対して様々な観点から質疑が交わされたところがあります。われわれ市議会もただ指摘するだけではなく、市民の皆さまから信頼される議会となるべく議会改革等を推進していきます。

（記 平石 誠）

【編集委員】

牛尾 昭 委員
平石 誠 委員
飛野 弘二 委員
野藤 薫 委員
小川 稔宏 委員
柳 真智子 委員
岡野 克俊 委員
足立 豪 委員
串崎 利行 副委員長
芦谷 英夫 委員長

【議長なんでもメール】 議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会HP→議長なんでもメール